<< 第12回朝日町総合計画・朝日町総合戦略検証委員会 委員意見及び回答表 >>

主要施策	担 当 署	成 果 指 標 等								第12回委員会 (R6.10.9) における意見等		
		項 目	単 位	H26 (基準)	R2 (中間)	R7 (最終)	令和5年度実績 (令和6年3月31日現在)		委員 意見	回 答 ・ 対 応 等		
							参考 (R4)	達成状況等				
116 非婚化・晩婚化対策の推進	住民・子ども課	【総合戦略】 婚活事業の参加を通じて結婚したカップル数 [累計]	組	(H28) 0	1	6	1	1	H28比較：— ○	○	【あさひ女性団体連絡協議会】 ●累計婚姻数が1件であるが、中々結果を出すのも難しいと思われる。婚活に参加する本人の意志や周囲の後押しが大事と考える。町の今後の方針として、「結婚意欲を高め、積極的な婚活ができるような支援に努めたい」とあるが施策案があればお聞きしたい。	●令和5年3月より、リアルでなくオンライン上で行うメタバース婚活を実施している。3組のカップル成立があり、このような新たな取組を進めていきたい。町が会費を補助している県主催のマリッジサポートセンターもあるので活用していきたいと同時に、様々な場面での周知も行っていきたい。
151 芸術・文化活動への幅広い町民の参加	教育委員会	あさひ芸能文化祭入場者数 [年間]	人	1,970	2,000	2,200	525	642	H26比較：▲1,445人 (▲73.4%) ×	×	【朝日町農業委員会】 ●参加者が少ない状況が続いており、今後の方針に記載の「魅力ある文化祭」への取組はあるか。	●令和5年度は19団体に出演いただいた。人口減少とともに参加団体・観覧者が減少している状況にある。芸能文化を絶やさないで頑張っておられる方の場、また楽しみにしている方のため、継続的に実施していきたいと考えている。出演団体には、マンネリ化しないようご意見を提示させていただいている。
213 心の健康対策	健康課	睡眠で休養が十分とれている人の割合 [年間]	%	83	87	90	73.7	78.0	H26比較：▲9.3 ▲	▲	【富山県議会】 ●実績から、睡眠が十分に取れていない方が多いと見受けられる。富山県としても全国的に良くはなく、何か良い案があるか。	●当該事業数値は、特定検診のアンケート結果である。健康寿命のため、普及啓発に努めたい。
232 医師・看護師の確保	あさひ総合病院	あさひ総合病院の常勤医師数	人	12	14	16	12	12	H26比較：-人 (-%) -	-	【富山県議会】 ●医師・看護師の確保に向けた取組が着実に成果を出している。	●引き続き努めて参りたい。令和6年10月1日現在では14名の常勤医師がおり、5年度より増となっている。
		あさひ総合病院の看護師数	人	81	85	95	85	87	H26比較：+4人 (+4.9%) ○	○		
411 観光素材・観光拠点の魅力向上	商工観光課 農林水産課	【総合戦略】 宿泊者数 [年間]	人	65,000	77,000	85,000	39,852	24,451	H26比較：▲25,148人 (▲38.7%) (R5.1~R5.12月) ×	×	【朝日町商工会】 ●「春の四重奏」「ヒスイ海岸」「ビーチボール大会」など、人が訪れる契機はあると思われるが、宿泊者数が少ない理由は何であると考えているか。	●以前と比べ宿泊事業所が廃業の理由で減少していること、受入側の人手不足、個室タイプの宿泊形態に対応していないなどが要因として挙げられる。
		【総合戦略】 舟川桜並木の来訪者数 [年間]	万人	2.8	4.5	6.5	8.8	6.9	H26比較：+4.1万人 (+214.6%) ◎	◎	【朝日町観光協会】 ●春の四重奏来訪者数は年々増加傾向にあるなか、駐車場問題が浮上している。また、町にお金を落としてもらう方法、宿泊者数増に向けた方策が必要と思われる。現在の宿泊体系は個室タイプに泊まる場合が多く、大部屋タイプは泊まらない。改修への補助の考えがあるか。 【前再生会議メンバー】 ●春の四重奏におけるチューリップ栽培での人材不足が懸念される。有名になってきたが、人手がいないと継続できない。何が足りないか早めにリサーチし、持続可能な観光にしていきたい。他地域の手を借りるのも1つの手だと思われる。 【富山県議会】 ●観光庁や県戦略プランにもある「観光消費額」を指標として設定してはどうか。	●駐車場問題は把握しており、近隣住民に迷惑がかからないようにするためにも改善を検討中。経済効果については、商工会と連携し様々な方策を試している。宿泊施設については、補助があれば良いことは理解できるが、金額が大きくなること、受入側がどの程度望んでいるのか確認・検証をしていく必要がある。 ●状況は把握しており、令和2年度に農学舎を設置し、地域おこし協力隊も1名チューリップ農家に派遣しており、農学舎を活用するなど様々な形で後押しはさせていただいている。今まで以上の連携を図りながら進めていく。また、農家さんの存続そのものの話として、通年を通して多くの人材を雇用するのは困難である。1日でもいいから働きたい方が登録し、農家さんに派遣するシステムを県が検討中。随時、農家さんにPRしていきたいと考えている。 ●令和3年度に町と富山大学経済学部が連携し算出したことがある。現行計画には経済効果を数値化した指標がなく、経済効果を可視化できるよう次期計画策定時に検討したい。

<< 第12回朝日町総合計画・朝日町総合戦略検証委員会 委員意見及び回答表 >>

主要施策	担当署	成果指標等										第12回委員会 (R6.10.9) における意見等		
		項目	単位	H26 (基準)	R2 (中間)	R7 (最終)	令和5年度実績 (令和6年3月31日現在)			参考(R4)	達成状況等	参考(R4)	委員意見	回答・対応等
							—	—	—					
423 合宿・教育旅行における交流推進	商工観光課 教育委員会	【総合戦略】 スポーツ合宿受入れ数 [年間]	人	2,738	3,000	3,000	—	—	※未実施	※	※	【朝日町農業委員会】 ●教育旅行の受入数については、民泊の受入を行っていると思われるが、コロナの影響により期間が空いたことで受入側の協力が難しくなっていると思われる。	●コロナ期間、教育旅行事業がストップし、受入家庭に調査を行ったところ、期間が空いたことで受入側の高齢化などの状況変化が発生し、受入家庭が少なくなっている現状である。町への学校側のオーダーは200~300人の教育旅行と規模が大きくなっており、現在の町の受入状況と乖離している。受入規模を大きくすることが難しく、少人数規模の学校に絞る、宿泊施設を活用するなど対応したく、旅行代理店と協議している。	
		【総合戦略】 教育旅行受入れ数 [年間]	人	150	250	800	20	117	H26比較: ▲130人 (▲86.7%)	×	▲			●コロナ禍によりサンリーナを活用した体育サークルの合宿もなかったが、令和6年度に1件実績があり、今後PRに努めていきたい。
524 地域の受入れ体制の充実	商工観光課 総務政策課 住民・子ども課	【総合戦略】 地域おこし協力隊の定着 人数 [累計]	人	(H30) 3	9	15	17	17	H30比較: +14人	◎	◎	【富山県議会】 ●朝日町における地域おこし協力隊の定住率はどのくらいか。	●これまで30名の地域おこし協力隊を採用、17名の方が定住し定住率は56.6%となっている。全国平均が約52%であり、平均値を上回っている。	
612 防災教育・訓練の充実、防災情報の発信体制強化	総務政策課	防災訓練参加者数 [年間]	人	700	800	1,000	600	603	H26比較: ▲100人 (▲14.3%)	▲	▲	【朝日町農業委員会】 ●防災訓練参加者が住民比率で考えると少ない。人数規模を増やし、能登半島地震などを鑑み緊迫感を持った訓練を実施した方がよいのでは。	●令和5年度はコロナを考慮し、各地区10名の参加に絞った経緯がある。令和6年度防災訓練は津波想定とし、沿岸部に絞った形で実施している。今後は、災害事象に応じた適切な開催を検討して参りたい。	
624 救急救命体制の充実	消防署	救命講習受講率(人口比)	%	7	7.5	8	4.2	3.2	H26比較: ▲2.8 (▲40%)	▲	×	【朝日町農業委員会】 ●救命講習受講率が低い。	●広報・ポスターによる普及啓発を行っている。また、女性団員の指導育成を実施しており、今年度には応急手当普及員の資格を取得予定。資格取得女性団員と協力し更なる普及啓発を図る。	
632 交通安全対策の充実	総務政策課	高齢者交通安全教室参加者数 [年間]	人	495	500	500	100	145	H26比較: ▲395人 (▲79.8%)	×	×	【朝日町農業委員会】 ●各町内会の要望ではなく、行政主導で主に高齢者に講習を実施していただきたい。	●高齢者の事故については危惧している。コロナ禍の経緯で参加者が少なかったが、今後は警察や交通安全協会とも協議しながら検討して参りたい。	
713 土地区画整理事業	建設課	泊駅南土地区画整理事業の整備済面積	ha	—	0.0	11.0	0.0	0.0	R2比較: —	—	—	【朝日町議会】 ●宅地分譲の完売に向け、力を注いでいただきたい。また、泊駅南側改札の設置について鉄道会社と交渉を行い進めていただきたい。	●重要な事業であると考えており、推進して参りたい。泊駅南側改札については、先般、国土交通省幹部へ説明に伺ったところである。	
732 簡易水道施設への支援	建設課	水質検査等の維持管理に対する支援件数	件	55	55	59	54.0	54.0	H26比較: ▲1件 (▲1.8%)	▲	▲	【朝日町教育委員】 ●水質検査の実施は安全・安心の観点から行うべきであり、今後の方針に記載している「すべての組合が水質検査の実施を行うことを目標とし、今後お願いしていく」というのは、住民目線に立った計画に馴染んでいないと思われる。	●簡易水道は、町の事業ではなく各水道組合が行っている。そのため、原則水質検査も組合が行うものであり、町は1/2の補助をしている。指標そのものについては、次期総合計画策定の際に再検証したい。	
【その他】 泊高校の跡地利用について	総務政策課											【富山県議会】 ●利活用が具体化になるように。町の起爆剤になれば良いと考える。	●泊高校は現在取り壊しを行っており、令和6年度に解体が完了する見込み。令和7年度より造成工事を実施予定。アクセス道路が必要であると考えており、現在、県と協議している。	